

水素膨潤状態における過酸化物架橋アクリロニトリルブタジエンゴムの 放射光小角 X 線散乱法による構造解析

大山恵子
九州大学工学府水素エネルギー・システム専攻

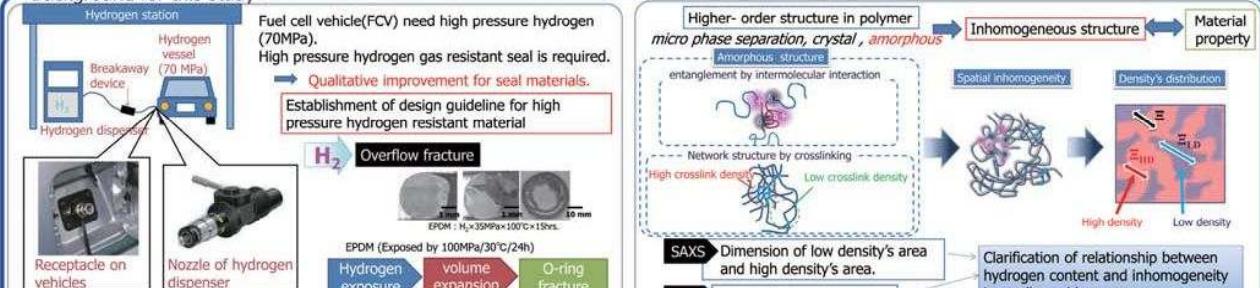
燃料電池自動車の実用化に向け、高压水素容器の安全設計に関する研究開発が推進されている。高压水素容器のシール材としてゴム材料が用いられるが、高压水素曝露したゴムは減圧後、溶解水素の影響により体積膨張し、はみ出し破壊・座屈破壊を伴う。体積膨張のメカニズムを明瞭化し、耐高压水素シール材料の分子設計指針を確立することは、安全な水素エネルギー社会の実現のための重要な課題である。

本研究では、ゴム中に存在する高次構造の不均一性に着目し、水素曝露後の試料について、放射光 X 線を用いた X 線小角散乱測定により不均一構造のサイズ及び体積分率の経時変化を評価し、水素膨潤時の不均一構造と水素溶解量の相関について考察した。不均一構造解析を行うにあたって、ゴムの構造はゴム分子鎖の密集した領域（高密度相）と疎な領域（低密度相）の 2 相からなるという仮定に基づく、Debye-Bueche 式を適用した。

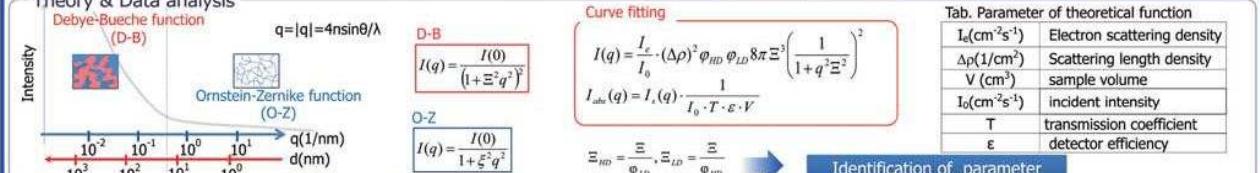
Structural study of peroxide crosslinked acrylonitrile butadiene rubber in hydrogen swelling state by synchrotron small angle X-ray scattering

九大院工¹・九大水素セ²・九大シンクロトロン³・大山恵子¹・藤原広匡²・神谷 和孝³・吉岡 聰¹・杉山 武晴³・西村伸^{1,2}

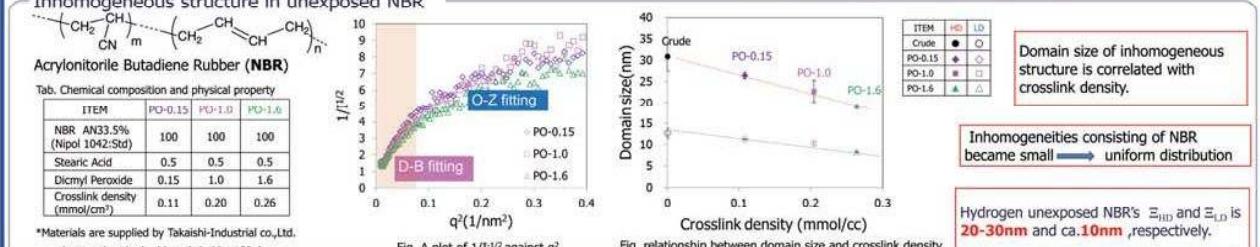
Background for this study



Theory & Data analysis

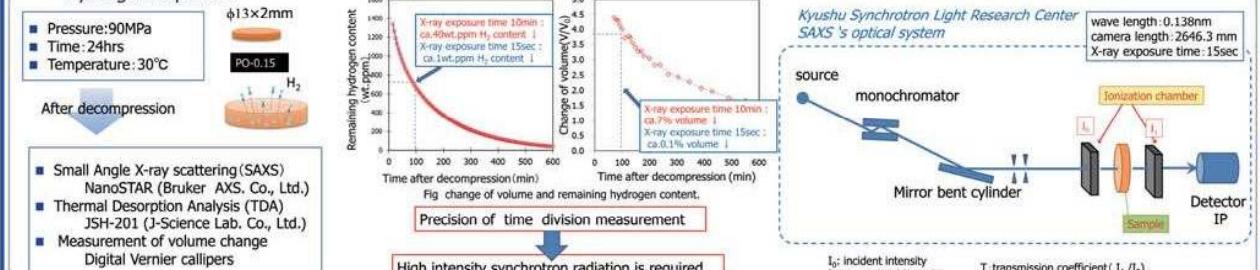


Inhomogeneous structure in unexposed NBR

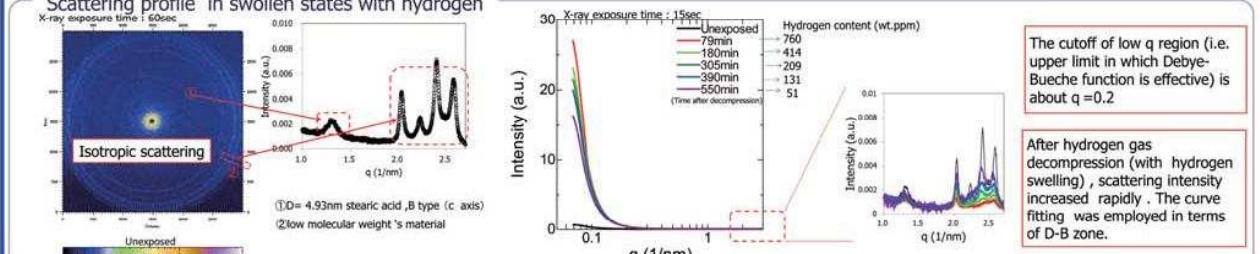


*Materials are supplied by Takaishi-Industrial co.,Ltd.
phr : per hundred rubber (g/rubber100g)

Hydrogen exposure



Scattering profile in swollen states with hydrogen



Structural change in hydrogen swelling state

